

今井研究室

[日常活動を安全性につなげる津波避難施設]

人間・社会系部門 / 価値創造デザイン推進基盤

Department of Human and Social Systems, Design-Led X Platform

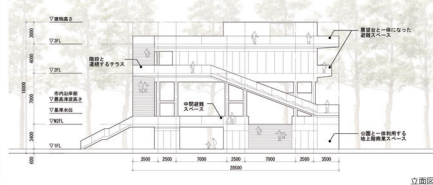
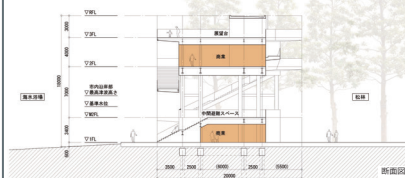
建築学専攻

空間システム工学

<http://http://www.imai-lab.iis.u-tokyo.ac.jp/>



海側イメージ



立面図



本計画は津波避難・観光が高度に融合した、全く新しい建築のプロトタイプである。防災施設であると同時に観光施設としての日常利用を可能にすることにより、地域経済効果を上げることに加え、市民が施設利用に慣れることで避難時の安全性を向上させる。観光客数と地域の人々の居住分布から想定された約1200人が避難する2,3階の床は、景勝地に建つため商業空間・展望台として価値が高い。10m以上の柱が津波の力に耐えるために必要になる中間梁のレベルには、小さな津波の避難のため、また大人数が避難した際の避難を回避するために、中間避難階が設けられている。この半屋外の場所は、上部の避難スペースがつくる日影があり、風通しが良いピロティ状の空間であることから、海水浴の来訪者のための空間として積極的に利用されるだろう。さらに、人々をスムーズに上へ避難させるために十分な幅員を持った階段が、建物外周部に視認性の良いテラスと共に配置されており、ここを上がる人々は松原の中で眺望を楽しみながら最上階の展望スペースに上がっていく体験ができる。

*本計画は加藤孝司研究員（防災安全システム学）と協働のプロジェクトである。

